

鋸の名匠が鍛えた日本刀が寄贈されました。

この日本刀は、三木の鋸鍛冶の名匠である初代宮野平次郎元吉(もときち)から数えて3代目となる鋸鍛冶宮野平次郎胤吉(たねよし):明治34年～昭和47年)が昭和20年6月に製作したものです。

3代目平次郎(胤吉)は、初代平次郎が開発した鋸と刀剣の古式鍛錬の優れた技法を脈々と受け継ぎ、大阪陸軍造兵廠造刀の最初の「刀匠」を拝命しました。

鋸の名匠が製作した貴重な資料として、三木市立金物資料館で永く保存展示いたします。

刀 銘:「宮野平次郎国吉」

刃 長:66.6cm(全長:96cm) 反り:1.5cm

